

特別企画

講座コード

14260012

明治大学・福井県連携講座

# 福井藩と坂本龍馬



## 講座趣旨

幕末の福井藩は16代藩主松平春嶽の能力主義による人材登用等の藩政改革により、当時の日本の中で注目された藩でした。

その福井藩に興味を持ち、密接な関係を持っていたのが、“幕末の風雲児”坂本龍馬。

龍馬はその生涯の中で、二度福井藩を訪れており、その際に由利公正と会談し、日本の将来を語り合ったと言われています。

今年発見された龍馬が後藤象二郎に宛てた手紙の草稿の中でも、新政府の財政担当者として「三八(由利)をおいてほかにはいない」と断言するほど高く評価していました。

この講座では、福井藩と龍馬の関係性を中心に学んでいきましょう。

## 講義概要

曜日	土曜日
時間	13:00~14:30
定員	50名
回数	4回
受講料	5,000円
教材	レジュメ資料
ポイント	対象外

日程	内容	講師
1	休 講	
2 12/20(土)	福井藩と坂本龍馬—新発見書簡を中心に—	角鹿
3 1/10(土)	横井小楠と坂本龍馬	須田
4 1/31(土)	「広義」の制度化と五箇条の誓文	落合

## 講師紹介 ◆◆◆◆◆

### 休 講



つのが なおかつ 福井市立郷土歴史博物館副館長・学芸員

昭和35年生まれ。福井市立郷土歴史博物館副館長・学芸員。歌誌『短歌人』同人。月光の会会員。日本文芸家協会・日本ペンクラブ会員。神職。著書：『知られざる福井の先人たち』（フェニックス出版）『ふくい女性風土記』（中日新聞本社）『ことばの動物史—歴史と文学からみる—』（明治書院）他共著：『福井市史』通史編古代・中世。『ふくい女性の歴史』『福井県神社誌』『瑞源寺と松平吉品』他。論文・随想・史料紹介多数。



すだ つとむ 須田 努 明治大学情報コミュニケーション学部教授  
1959年、群馬県高崎市生まれ。専門は日本近世・近代の社会文化史・異文化コミュニケーション史です。現在の研究課題は、社会文化史の観点からは、幕末から明治初年における大衆芸能と社会との関係、異文化コミュニケーション史の観点からは、薩摩の朝鮮人陶工の村や、吉田松陰に見る征韓論形成の問題などです。朝鮮・中国との関係から日本近世・近代史を考察したいと考えています。



おちあい ひろき 落合 弘樹 明治大学文学部教授  
専門は幕末・維新史。武家の解体という側面を中心に明治維新を再検討している。著書に『秩禄処分—明治維新と武士のリストラ—』（中公新書 1999年）、『明治国家と土族』（吉川弘文館 2001年）、『西郷隆盛と土族』（吉川弘文館 2005年）、『西南戦争と西郷隆盛』（吉川弘文館 2013年）など。